



## 概要とお申し込み方法

日程 2015年9月～2016年1月の間に全5回

各回：13時～17時（4時間）×5回＝20時間

会場 ● ウィリング横浜

アクセス：京急線・市営地下鉄ブルーライン上大岡駅直結 徒歩3分

● 横浜情報文化センター 大会議室

アクセス：みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口情文センター口直結  
JR・市営地下鉄「関内駅」徒歩10分

定員 25名

対象 障がい福祉、相談支援などの現場スタッフでこのテーマに関心のある方  
（障がい者就労支援事業所、地域作業所、地域活動ホーム、相談支援事業所などの職員）

受講料

● 雇用保険適用職員の方

全回受講 10万円／20時間（固定プログラム3回＋選択プログラム2回）※事務手数料込

・非常勤スタッフの方：厚労省キャリアアップ助成金利用により自己負担なし

※受講時間分の賃金助成も受けられます。

・常勤スタッフの方：厚労省キャリア形成助成金利用により自己負担50%

※受講時間分の賃金助成も受けられます。

● 上記以外の方

全回受講 50,000円

各回受講 10,000円／4時間

※雇用保険に入っていない方、各回受講を希望する方は自己負担100%となります。

### 【キャリアアップ助成金人材育成コースについて】

- ・研修開始1か月前までに申請
- ・訓練経費助成：20時間以上、100時間未満に対し10万円（大規模法人は7万円）
- ・賃金助成：1時間あたり800円（同上500円）、20時間×800円＝16,000円/人

### 【お申込み・お問合せ】

特定非営利活動法人 よこはま地域福祉研究センター（担当：吉川）

〒231-0013 横浜市中区住吉町2丁目17番地 金井ビル201号室

TEL 045-228-9117 FAX 045-228-9118

Email top@yresearch-center.jp URL http://yresearch-center.jp/



特定非営利活動法人  
よこはま  
地域福祉  
研究センター

Yokohama Community development Research center

障がい者と家族の地域生活支援プロジェクト

# 障がい者支援の専門職向けプログラム

## 2015

2015年9月～  
2016年1月 全5回  
厚労省のキャリアアップ  
助成金が使えます。

※条件あり

## ゆるぎなく、 前を向くワーカーになる



根拠と実践力を学ぶ  
5回連続講座

理論編 3回  
実践編 2回（コース選択）

相談  
コース

経営  
コース

商品開発  
コース



特定非営利活動法人  
よこはま地域福祉研究センター

Yokohama Community development Research center

# PROGRAM

プログラム

## 根拠と実践力を学ぶ 5回連続講座

内閣府では、共生社会政策の一部として障害者施策を位置づけ、年齢や障害の有無等にかかわらず安全に安心して暮らせる社会を実現させようとしています。共生 (= インクルーシブ) 社会の創出は、障がい福祉分野だけのテーマではなく、現代を生きる私たちに共通のミッションであり、支援現場の職員の皆さんはその最前線に立っているといえます。

世界から、国から、追い風が吹き始めています。この講座ではその風上から風下まで見渡したうえで、足元を見つめなおし、ブレない根拠を持って現場での実践をおこなうための力を身に付けます。障がい福祉を取り巻く社会に何が起り、何をすべきか。新しい風をキャッチして自身の原動力に変えていきましょう。

### 理論編 ※受講必須プログラム

01

テーマ：共生社会と障がい

日程：9月28日（月）13:00-17:00

会場：ウィリング横浜 121 研修室

講師：熊本学園大学教授・弁護士・元内閣府障害者制度改革担当室長

東 俊裕氏



すべての障害者に基本的な人権と平等を保障する「障害者の権利条約」が 2006 年国連総会で採択され、07 年 9 月に日本も署名。共生社会の大原則である、「障害者の権利条約」について理解するとともに、社会モデルに基づいた障がい福祉の意義、目的を改めて捉えなおします。そのうえで、障がい者の暮らしをサポートするワーカーが持つべき視点を共有します。

02

テーマ：障害者権利条約時代の障がい福祉サービスのありかた

日程：10月13日（火）13:00-17:00

会場：横浜情報文化センター 大会議室

講師：障害者支援施設 愛隣館館長・内閣府障害者政策委員会 委員長代理

三浦 貴子氏



28年間障害者福祉施設の運営に携わる一方で、内閣府の委員を歴任する講師が、障がい者を取り巻く社会の変動や現場の役割の変化について解説。共生社会創出のための障がい福祉サービスのあり方、考え方を共有します。

03

テーマ：地域生活・就労と障がい

日程：11月17日（火）13:00-17:00

会場：横浜情報文化センター 大会議室

実践報告者：就労支援B型事業所、地域活動支援センター、相談支援事業所などから複数

講師：文京学院大学人間学部教授 松為 信雄氏



現場実践者からの事例報告とシンポジウム、参加型のディスカッションにより、実践根拠に沿った現場の取り組みをどう実現させるかについて考えます。当事者を中心に据え、地域の社会資源を活用・開発し「障がいの社会モデル」をかなえる。その使命を果たすために必要な専門性とは。

### 実践編 ※選択プログラム 1人につき1コース受講

相談  
コース

障がい者の尊厳に寄り添う  
相談支援のスキル

04

テーマ：個別支援と地域支援の統合

日程：12月18日（金）

会場：横浜情報文化センター 大会議室

講師：横浜市総合リハビリテーションセンター

小田 芳幸氏

相談支援現場ワーカーが個別支援の限界を超え、障がい者の社会性を向上させるために、ネットワークによる支援を行えるよう、知識とスキルを身につけます。



05

テーマ：社会資源の活用と開発

日程：28年1月8日（金）

会場：ウィリング横浜 503 研修室

講師：横浜市総合リハビリテーションセンター

小田 芳幸氏

障がい者の生活を地域で支えるため、必要な社会資源の活用や開発・構築に取り組むことができるワーカーとなれるよう、講義と演習を行います。

経営  
コース

インクルーシブ社会創出  
のための商売ノウハウ

04

テーマ：経営・マーケティング編

日程：11月25日（水）

会場：ウィリング横浜 111 研修室

講師：中小企業診断士

為崎 緑氏

地域社会の中で、障がい者が自立した生活を送るためには、彼らの取り組みがきちんとビジネスと結びつくことが重要です。支援者が持つべき、福祉と経営の両立の視点を探り、実務に直結するマーケティングの知識を身につけましょう。



05

テーマ：店舗プロデュース編

日程：28年1月18日（月）

現場診断バスツアー（会場未定）

講師：飲食店舗プロデューサー・二級建築士

水谷 功氏

店舗など販売・サービスの現場は障がい者と社会との接点を作る大きな可能性を秘めています。多数の店舗開業や改装の実績を持つ商業コンサルタントである講師とともに、お客様の視点で複数の店舗をチェックするバスツアーを実施します。

商品開発  
コース

アートと障がい

04

テーマ：社会性を促進する表現活動

日程：12月9日（水）

会場：ウィリング横浜 介護実習室2

講師：美術家、アートディレクター

中津川 浩章氏

障がい者の表現活動と現代アートの比較など、専門的な研究と実践に取り組んでいる講師から、アートと障がいを結びつける価値について学びます。支援者としての感覚を磨くためのワークショップも行います。



05

テーマ：障がい者の強みを活かした  
魅力ある商品開発

日程：28年1月13日（水）

会場：ウィリング横浜 11 階多目的室

講師：con\*tio (コンティオ)

山口 里佳氏、杉 千穂氏

障がいのある人と社会をつなげる代理店 con\*tio のお二人とともに、アートの視点と個性を活かした製作、商品を流通の流れに乗せる工夫について考えます。現場の課題を持ち寄り、商品開発のプロセスに沿って実際に検討してみましょう。

